

北海道ぎょれん広報

なみまるくん



7

2019
No.369

[うみ・なかま コミュニケーション]

北 海 道
ぎょれん



特集

第57回 北海道漁業協同組合長会議
第70回 ギョレン通常総会

みきさんの あさかな コラム

今月から、札幌で活躍する2人の管理栄養士の方に、旬の魚をテーマとしたコラムを交互にご寄稿頂きます。

「たこ」

季節を意識しながら自分の内側に耳を傾け、自然の流れに沿った食事を摂る。健やかで彩り豊かな毎日を送るために。今年の夏至は六月二十二日でした。そこから数えて十一日目、七月二日は半夏生(※)。梅雨が明け、田植えを終える節目の頃で各地でさまざまな風習があるようです。

関西の一部地域では半夏生にたこを食べる習慣があります。この時期、農家の人たちが神様にたこを捧げて豊作を祈ったことから始まったと聞きました。たこの足のように稲がしっかりと根を張り、たこの足の吸盤のように稲穂もたわわに実ってほしい。そんな願いが込められていたなど諸説あるようです。欧米では「デビルフィッシュ」と呼ばれ敬遠されていたたこですが、日本では昔から馴染みの食材だったようです。

半夏生にスーパードにたこが並ぶ光景は北海道でも見られるようになりました。

たこは、たこ焼き、寿司ネタ、酢の物、から揚げ、たこ飯など幅広い料理に使われますね。た

こには疲労回復の効果が期待できるアミノ酸の一種である「タウリン」が含まれています。タウリンには弱った肝臓の機能を高める効果や交感神経を抑制して血圧を下げる効果があります。また、目の働きを助けて傷ついた網膜を修復する作用もあり、目薬の成分としても使われているようです。

あれ？弱った肝臓！血圧を下げる働き！網膜の修復！ある年代の方には思い当たる人も多いのではないのでしょうか。たこは私も含め、そうしたみなさんにも必要な栄養素を含んでいるのです。

半夏生のたこは旬を迎え、色つやがよく、柔らかくてとっても美味しいです。昔の人たちもそれがわかっていたんですね。

たこをすりこぎなどでたたいて、炭酸水と水を同量、お酒を少し入れて煮るとやわらかくなりますよ。それをお好みの味付けで今晚のおかずはいかがですか。我が家の人気メニューは柔らかく煮たたこと茄子やズッキーニなどの夏野菜をたっぷり加えて、トマトソースで。ご飯

※半夏生は雑節のひとつ。夏至から数えて十一日目。七月二日ごろ。来年は七月一日。この日から五日間をさすこともあります。



坂下 美樹
管理栄養士/調理師/製菓衛生師/
フードコーディネーター
実母で料理研究家の坂田蓉子に師事(さかた料理研究室主宰)。
現在、北海道新聞 暮らし面「今日の1品」執筆中。「道新文化教室」開催。
道新ポケットブック等の料理制作など。平成20年11月「カフェ&料理教室 /うららか」オープン。
ぎょれんと共にレシピの制作多数。

[うみ・なかま コミュニケーション]

なみまるくん

北海道ぎょれん広報誌
Hokkaido Gyoren Magazine
July 2019 No.369



みきさんのおさかなコラム

01 「たこ」

特集1

02 第57回 北海道漁業協同組合長会議

特集2

05 第70回 ゑれん通常総会

08 河川海洋環境の保全活動の一環として、北海道ぎょれんは脱・抑プラスチックへ取り組みます

09 ゑれんの新機構図

10 退任する役員からの御挨拶

11 道漁青連が「平成31年度(令和元年度)第1回地区会長会議」を開催

浜の家族物語

12 落石漁協/庄林 大騎さん ご家族

13 頭すっきり!! ブレイクタイム

14 なみまるインフォメーション

大漁祈願!

16 浜のほっとニュース

みなさんのお便りでつくるページ

17 なみまる おたより箱

表紙の写真

落石漁協/庄林 大騎さんご家族です。



落石漁港昆布盛地区は30mを越える断崖に隣接している

第57回 北海道漁業協同組合長会議



5つの決議案・運動方針が原案通り承認、決議された、第57回全道漁協組合長会議



来賓として挨拶される
鈴木直道北海道知事



ぎょれん 川崎会長

6月13日(木)、札幌市の第2水産ビル大会議室で「第57回北海道漁業協同組合長会議」が開催されました。会議には5月14日(火)の「北海道漁業協同組合長会議第一回決議実行委員会」で審議された5件の決議等が上程されました。ここでは、その会議の模様と決議内容についてお伝えします。

新たな資源管理や資源増大対策の推進、漁業経営の安定・強化、漁場環境づくりなど、5つの決議案・運動方針を採決

会議では、主催団体を代表し、ぎょれん川崎会長があいさつを行い、岩田組合長(いぶり噴火湾漁協)を議長に、上見組合長(えさん漁協)を副議長に選任し、議事を進めました。提出された5件の決議案・運動方針はいずれも原案通り承認されました。決議内容の具体的な推進方法についてはぎょれん川崎会長に一人任せ、各系統団体、協議会他関係諸団体との連携を図り、強力に推進していくことが確認されました。



議長を務めたいぶり噴火湾漁協岩田組合長と副議長を務めたえさん漁協上見組合長

決議内容について

決議第1号

国の「水産政策の改革」に基づく本道漁業の実態に即した新たな資源管理の推進について



発言者
大石組合長
(船泊漁協)

- ① 新たな海面利用制度に向けた漁業秩序の確立
 - ② 漁業権付与の基準の明確化を図ること
 - ③ 1-Q(個別割当)の導入について、多様性のある沿岸漁業に配慮すること
 - ④ 漁船の大型化により、水産資源やその他漁法の操業に影響がでないようにすること
 - ⑤ 指定漁業の許可体系の見直しにあたり、漁業の在り方についてその他漁業者が意見・要望等を提出する機会を新たに設けること
 - ⑥ 漁業法改正に関係する政省令、通達の制定、経過措置等については、十分な期間を設け、漁業者の理解を得た上で定めること
- (2) 本道漁業に即した適切な資源管理の推進
- ① MSY(最大持続生産量)等に基づく新たな資源管理目標の設定と管理にあたり、拙速な取り進めをしないこと
 - ② 精度の高い資源評価に基づく資源管理の推進をはかること
 - ③ 新規漁業就業者の雇用や育成支援体制の拡充をはかること
 - ④ 個人版事業承継税制の対象資産に、漁協出資金・事業用貯金等を含め、贈与税・相続税の納税猶予並びに減免等課税の特例措置を講じること

- (2) 漁業経営対策の更なる拡充強化
- ① 計画的な設備投資による脆弱な生産基盤の安定と国際競争力の強化をはかるための各種漁業設備支援措置について拡充強化をはかること
 - ② 漁業収入安定対策の機能強化・法制化にあたり、現行制度の改善とTAC対象魚種拡大に伴う拡充対策に取り組むこと
 - ③ 漁業用燃油高騰対策事業の拡充強化を図ること
 - ④ 漁業用燃油に対する免税還付措置の恒久化を図ること
- (3) 先行き不透明な貿易自由化交渉に対する対応策の強化
- ① 現在交渉が進められている東アジア地域包括的経済協定(RCEP)や日米物品貿易協定(TAG協定)等の貿易自由化交渉において、主要水産物を関税撤廃などの対象から除外する等、本道漁業への影響がでないよう交渉を進めること
 - ② 既に発効済みであるTPP11や日EU・EPA等の協定についても、新たに本道漁業への影響が見込まれる場合については、影響回避措置を講じること
 - ③ 本道水産物の消費拡大と円滑な加工流通対策の推進
 - ④ 現行の流通促進・消費等拡大対策事業等の制度

- (2) 変動する海洋環境や海域の特性に合致した効果的な資源回復・増大対策
- ① 海洋環境の変動に適応する種苗生産など増養殖技術を確立すること
 - ② かき、あさり、うに、つぶ、ほたて等、浜の活力再生プラン等に基づき、各浜にて自ら取り組んでいる栽培漁業への支援を講じること
 - ③ さくらますやにしんなど地域の高回復性魚種に対し、継続的、効果的な資源増大対策をはかること

決議第3号

漁業構造改革を推進するための漁業経営の安定と強化に向けた取り組みについて

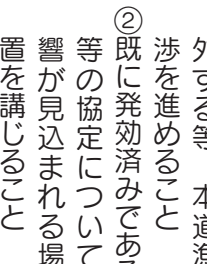


発言者
西山組合長
(標津漁協)

- ① 漁業の担い手・後継者確保対策と各種制度等を活用した漁業就労者対策の推進

決議第2号

浜の活力再生プランに基づく資源増大対策の推進について



発言者
三上組合長
(砂原漁協)

- ① 資源減少が著しい魚種に対する即効性のある資源増大対策



役員改選となった今年。新たな体制で数々の課題に取り組んでいます

特集2

SPECIAL

第70回ぎょれん通常総会

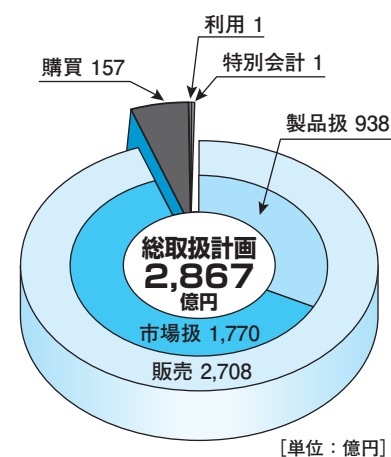


議長を務めた網走漁協 新谷組合長

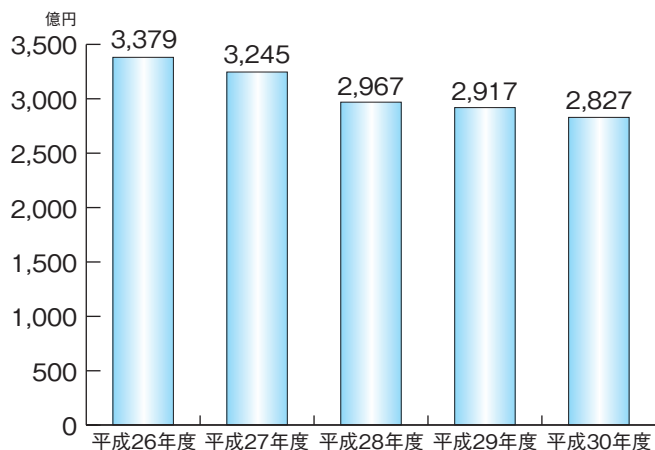
平成30年度取扱金額は2827億円
平成31年度は3ヶ年計画の節目の年として、各種対策に総力を挙げて取り組む

ぎょれん総会は、川崎会長の挨拶（次頁に掲載）ののち、網走漁協の新谷組合長が議長に選任され、議事が進行しました。「平成30年度の決算」、「平成31年度の事業計画」など、7つの議案が審議され、いずれも原案通り承認されました。

平成31年度事業別取扱計画



総取扱高の推移



決議第4号 水産業の成長産業化の基盤となる揺るぎない漁場環境づくりについて



発言者
丹野組合長
(石狩湾漁協)

- ① 水産多面的機能発揮対策の拡充強化
水産多面的機能発揮対策事業の活動範囲を拡充し、十分な予算措置を行うこと
- ② 国境・水域監視は国益を守る重要な活動であることから、外国船の漂流・漂着等が頻発している現状下、漁業者による国境・水域監視等

- ① 水産政策の改革を着実に実行するため、沿岸漁業者等が必要とする漁業近代化資金の融資枠の増枠を図ること
- ② 漁業の成長産業化推進のため、各補助事業実施に伴う補助残融資については、所要額全額の融資枠を確保すること。特に漁協系統団体が一丸となって実施している漁船リース事業については、確実に融資枠を確保すること

- ③ 水産物輸出を拡大するため、水産加工場のHACCP認定取得や生産海域モニタリング等に対する支援を継続するとともに、輸出手続きの簡素化などについて関係国に働きかけること
- ⑤ 水産政策の改革に向けた漁業近代化資金利子補給金の拡充強化

- ② 自然災害等リスクに対する防災体制の強化
① 近年、大型低気圧等が本道海域に接近、上陸し、漁業被害が頻発していることから、流木対策を含む未然防止対策並びに早期復旧体制の確立を図ること
- ③ 豊かな海づくりに向けた河川・海洋に対する環境整備
① 漁場環境保全のため、森林や河川環境の整備と藻場の回復・造成を図ること
- ② 農業・開発由来による濁水等流出等の防止対策の強化を図ること
- ③ 原油流出による海洋汚染防止対策の強化を図ること
- ④ 有害生物等漁業被害対策の拡充強化
① 海獣類（トド、アザラシ、オットセイ、ラッコ等）による漁業被害対策及び各種支援の拡充強化を図ること
- ② ほたてに付着するザラボヤ被害対策の推進を図ること
- ③ 有害生物漁業被害防止総合対策事業の拡充強化を図ること
- ⑤ 密漁防止対策の更なる推進
① 密漁・外国船の違法操業等に対する取締機能による監視・取り締まりを強化すること
- ② 密漁監視体制強化の支援のための「浜の活力再生交付金」について、更なる予算や事業内容の拡充を図ること
- ③ 密漁品の流通防止に向けた対策の強化を図ること
- ④ 最先端技術による密漁防止対策の強化を図ること
- ⑥ 原発関連諸対策の継続
① 福島第一原発事故の早期収束と安全対策を推進すること
- ② 国内外の風評被害対策と新たな風評被害の未然防止の徹底を図ること

- ⑦ 諸外国による脅威等に対する漁業への影響回避対策の強化
① 外国不審船に対し、国境監視の強化や沿岸警備の充実を図るとともに、被害補償や漂着物処理については国の責任において行うこと
- ② 北朝鮮の弾道ミサイル発射等諸外国からの脅威に対し、漁業者の安全確保を最優先とし、万一、漁業者が被害を被った際は国の責任において被害を補償すること

新たな運動方針 美しい海と海洋生物を守り続けるための脱・抑プラスチックの取り組みについて



発言者
山田組合長
(新星マリン漁協)

本年度は、脱・抑プラスチック対策の推進に漁業者が自ら取り組む

令和元年度北海道漁協系統運動功労者表彰

会議に先立ち、「北海道漁協系統運動功労者表彰」が行われ、北海道漁業共済組合・北海道JF共済推進本部 福原正純組合長理事・本部長から表彰状と記念品が授与されました。

〈代表理事組合長としての表彰〉

横内 武久さん
沙留漁業協同組合
代表理事組合長



謝辞を述べる横内組合長

川崎会長 挨拶

平成30年度の事業実績

本道漁業の生産量は、三年ぶりに百万トンを超えたものの、魚種や地域間の水揚げ格差は依然として縮小せず、また、引き続き消費減退の影響から浜値が下落し、金額では昨年度並の水準に止まっています。

国内流通は、個人消費の伸び悩みや低価格志向により、売場の縮小や廉価品への置換えが進み、輸出については、世界的な水産物需要の拡大や、TPPを始めとした貿易自由化の動きに販路拡大への期待が掛かる一方、米国・中国による貿易摩擦が激化するなど、先行き不透明感が増しました。

また、漁業の成長産業化に向けた「水産政策の改革」により、漁業法が70年ぶりに改正されるなど、本道漁業にとって大変重要な局面を迎えています。

平成30年度は「水産王国北海道の復活」を掲げた中期的事業推進方向の2年目として、漁協系統の指導・経済連合会として、組織を挙げて各種事業推進にあたりました。

こうしたなか、販売事業の推進にあたっては、国内外の生産・流通動向を見据えながら関係団体と連携した各種流通対策に取り組みました。

基幹魚種のうち「ほたて」については、過去の大型低気圧による被害から回復はしましたが、ザラボや発生や大量へい死の問題が残りました。流通面では、価格の修正で需要喚起に繋がった反面、一昨年の高値在庫の消化が遅れ、消費拡大は、次年度に続く課題となりました。輸出については、米国の水揚げ回復で伸び悩む結果となりました。

「秋鮭」については、資源回復が期待されましたが、昨年度を若干上回る水揚げに止まりました。製品については、一昨年の高値在庫が滞留したことに加え、競合するロシア鱈が大漁となり、売場の確保が課題となっています。輸出については、消費喚起を目指し、秋鮭流通対策協議会と連携し、生鮮流通の促進に向けた各種対策を継続しました。

「昆布」については、生産量は昨年度より若干回復したものの、依然として過去十ヶ年平均を下回る水準に止まっています。増産対策の継続実施に加え、宣伝・普及活動、また異物混入防止に向けた啓発活動に取り組みました。

以上により、若干の水揚げ回復はあったものの、太刀魚種の価格下落による市場扱の減少により、販売事業の取扱高は昨年度を下回る結果となっています。

購買事業については、「系統ブランド資材

平成31年度の事業計画

次に事業計画の考え方について申し上げます。

ここ数年の本道漁業生産量は依然として低水準の域にあり、地域経済にも深刻な影響を及ぼしています。このようななか、本年度は「水産王国北海道の復活」を目指し策定した中期的事業推進方向の最終年度であり、組織を挙げて課題解決に挑戦していく決意です。加えて、先ほどの全道組合長会議で決議した「活力あふれる北海道漁業の改革実現」に取り組んで参ります。

販売事業については、適正な浜値形成に向けた系統連携による処理体制の強化と、資源回復に向けた諸対策を継続強化していきます。また、消費流通面では、一層の営業力強化に向けた体制整備を進め、「北海道ブランド」の浸透に向けた新たな販売拠点の確立と、各種の流通・宣伝・販促事業を強化して参ります。購買事業については、引き続き良質廉価な系統ブランド資材の普及拡大に努め、漁業用燃油の安定供給と価格の低減化を通して、漁業経営コストの削減に繋がりたいと考えています。

指導事業については、国による「水産政策の改革」が推進されるなか、本道の実態に見

評価推進委員会」を通じ、漁業の形態・地区毎の実態に即した資材の開発や、利用の拡大に努めました。また、「燃油」の系統利用の集中化を推進し、共有燃油タンクの整備を継続実施しました。以上のことから、購買事業の取扱高は昨年度を上回る結果となりました。次に漁政対策につきましては、本道漁業の持続可能な体質への転換を目指し、資源の「回復」・「増大」・「管理」を最重要課題と位置付け、国に対して各種要請活動を行いました。

また、指導教育活動については、漁協経営の健全化・適正化に向けた指導継続と、役員をはじめとする人材の育成・確保への取組支援を行いました。

環境対策については、海獣等の有害生物による漁業被害防止に向けた取組強化のほか、度重なる自然災害による被害軽減を図るため、漁場環境や河川環境の改善を目的とした環境保全対策を実施しました。

このようななか、本会は、ぎょれんグループ全体の総合的な経営基盤の強化、及び生産性の向上に取り組みました。

また、関連会社については、水揚げ減少による稼働不足と製品コストの上昇などから苦戦を強いられましたが、全社で黒字を確保することが出来ました。

以上の結果、本会の総取扱高は、二千八百

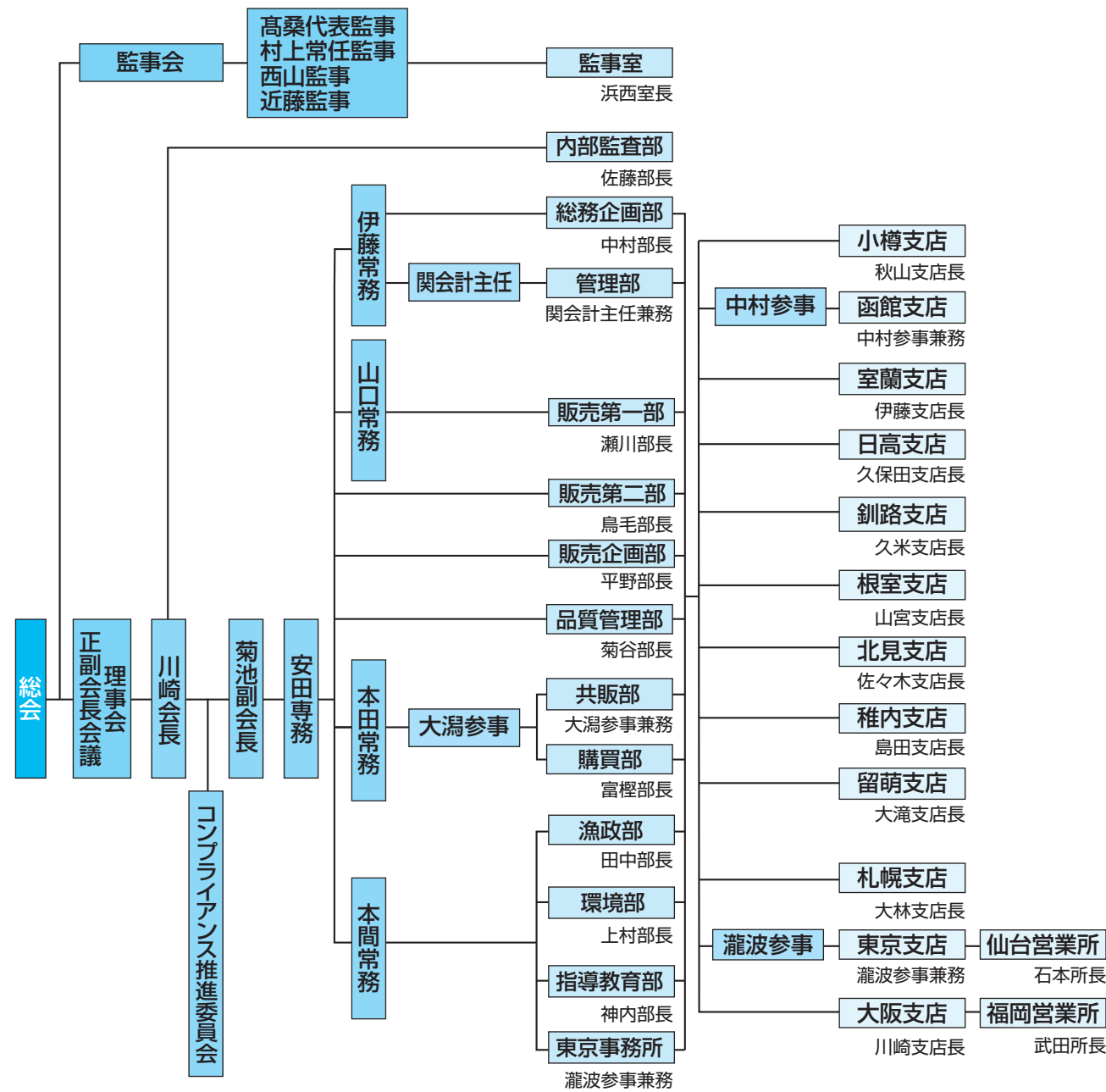
合った資源管理体制の構築による成長産業化に向け、しっかりと取り組んで参ります。

さらに環境面では、有害生物による漁業被害防止と河川・海洋環境保全対策の拡充強化に加え、将来を見据えた、「脱・抑プラスチック」運動を推進し、海洋ごみについての情報収集と発信、活動の周知・啓発に取り組んで参りたいと考えています。

本会と致しましては、今年度は3ヶ年計画の節目の年として、各種対策に総力を挙げて取り組んで参る所存ですので、会員各位の特段のご理解とご支援をお願い申し上げます。



ぎょれんの新機構図



ぎょれんの新執行体制

代表理事 川崎 一好 (厚岸漁協)	代表理事 菊池 元宏 (根室漁協)	代表理事 今坂 鉄夫 (北もい漁協)	代表理事 安田 昌樹 (勝実)	代表理事 本田 勝実 (靖敏)	代表理事 本間 貴彦 (重幸)	代表理事 伊藤 山 (山)	代表理事 池守 力 (古宇郡漁協)	代表理事 工藤 幸博 (ひやま漁協)	代表理事 若山 唯敏 (鹿部漁協)	代表理事 岩田 勉 (いぶり噴火湾漁協)	代表理事 神田 貞夫 (浜中漁協)	代表理事 片川 隆市 (雄武漁協)	代表理事 安田 順一 (猿払村漁協)	代表理事 風無 成一 (北海道機船連)	代表理事 高桑 康文 (常呂漁協)	代表理事 村上 和美 (上磯郡漁協)	代表理事 西山 武雄 (上磯郡漁協)	代表理事 近藤 龍洋 (釧路市漁協)
-------------------	-------------------	--------------------	-----------------	-----------------	-----------------	---------------	-------------------	--------------------	-------------------	----------------------	-------------------	-------------------	--------------------	---------------------	-------------------	--------------------	--------------------	--------------------

(令和元年6月13日時点)

河川海洋環境の保全活動の一環として、北海道ぎょれんは脱・抑プラスチックへ取り組みます

プラスチックによる海洋汚染問題が、世界的に大きな問題となっています。海を生活の場とする水産業界にとっても、他人事ではいられない問題の一つです。ぎょれんでは、環境保全活動の一環として、脱・抑プラスチック活動へと取り組んでいくこととし、6月13日(木)に川崎会長が記者会見を行いました。

プラスチックごみに対する世界の対応

日用品や漁具などを由来とするプラスチック製の漂流物は、生態系を含めた海洋環境への影響の他、船舶航行への障害、環境・漁業への影響などの被害が想定されています。さらに、近年は、5mm以下の微細なプラスチックごみである「マイクロプラスチック」による影響も懸念されています。

国際会議でも海洋プラスチックごみに関する決議が採択されるなど、対応が進みつつあり、EUは2030年までにすべてのプラスチック包装をリサイクルし、使い捨てプラスチックを削減すると発表したほか、世界的な大企業11社も、2025年までにパッケージリサイクル100%を宣言しています。また、外食産業ではプラスチック製ストローを廃止し紙製などへの転換が始まるなど、身近な所でも変化が始まっています。



記者会見には会長のほか、副会長ら役員も同席して行われました

ぎょれんでは

世界的にも取り組みが進むなか、海を生業としている漁業者・漁協・ぎょれんにとって、環境問題は身近な問題であり、脱・抑プラスチック活動は、重要な課題です。ぎょれんでは中長期的な視点に立ち、漁協系統運動として脱・抑プラスチック活動を展開していく計画です。

《取り組み事例》

- 本会製品に使用するプラスチック包材のバイオマス化
- マイクロプラスチックとその対策についての情報収集・発信
- 抑プラスチックに関する活動の周知・啓発



内ポケットがポーチになり、コンパクトに持ち歩けます

全道の組合員に配布されるエコバッグ。老若男女持ちやすいシンプルなデザインです

また、今後の取り組みは都度広報誌でも発信していきます。

道漁青連が「平成31年度（令和元年度） 第1回地区会長会議」を開催



全道の地区会長が出席し新年度の事業計画を決定しました

道漁青連が掲げる本年度活動計画は、「①仲間とともに、②漁協・系統とともに、③社会とともに」を基本指針に据えて、仲間との研修、系統事業への参加、食育・漁業紹介活動に取り組みます。

活動の柱となる学習・研修活動としては、札幌での全道大会、道内を4つの地区に分けて行っているブロック別幹部研修会、地元での地区大会の開催を通じ、地域、従事する漁業の枠組みを越えた連帯の輪を広げます。

また、「漁師さんの出前授業」は札幌に加え、地元での開催をさらに推進します。



地区会長による「漁師さんの出前授業」は、通算27回目を数え、子供達への漁業紹介活動の柱となっています



ぎよれんは、次代を担う漁青連活動の推進に大きな期待を寄せています

道漁青連役員と ぎよれん役職員との懇談会を開催

懇談会では、ぎよれんの業務内容や推進事項、組織体制について紹介されました。続いて行われた質疑応答では、ほたてを取り巻く世界的な流通動向や国内の需給状況について説明がありました。また鮮魚関係では、かれい類の魚価対策について報告を受けるとともに、消費推進について意見が交わされ有意義な懇談会となりました。

5月27日（月）、札幌の水産ビル7階ぎよれん第1会議室で、北海道漁協青年部連絡協議会（道漁青連）の第1回地区会長会議が開催されました。

会議では本年度の活動方針と、地域での活動計画が協議され承認されました。

また、引き続き開催された「ぎよれん役職員との懇談会」では、地域で水揚げされる水産物の流通動向について情報提供があり、本道漁業を取り巻く諸課題について意見交換し研鑽^{けんさん}を深めました。

退任する役員からの御挨拶

今回の総会をもって、佐藤副会長、崎出専務が退任しました。



佐藤 忠則
代表理事副会長

昭和53年4月、漁連に入会し41年余りが過ぎました。思い返しますと、入会翌年に未曾有のぎよれん事件に遭遇したこと、自分自身2度にわたる長期療養を経験し当時の諸先輩、後輩の皆様にも多大なる迷惑を掛けたこと、等々、色々な事が有りました。

私はオホーツクに生れ、育ち、オホーツクの実りのおかげで学校まで行かせてもらい、ぎよれんに奉職する事が出来ました。色々な皆様に本当に感謝です。

オホーツクの浜に「いさりの碑」と言う碑が有り、その一こまに「人間は神々と力を競うべきでない。人間は自然の摂理に従うべきだ。」とありますが、今、まさに資源管理の重要性が大きく問われています。漁業協同組合は自然の恩恵に感謝しながら資源の管理と生産に傾注する事で、北海道の浜が引続き豊かであることを祈念いたします。

永い間、本当に有難うございました。



崎出 弘和
代表理事専務

昭和51年の入会以来43年、北海道漁業に携わることが出来、そして多くの生産者、漁協の役職員の皆さんに出会うことが出来たことは、私にとって大変大きな財産でした。

この間、北海道の漁業は生産、加工、流通のあらゆる面で大きく変化し、また、多くの困難に直面して来ました。しかし、この変化に常に対応し、乗り越えることが出来たのは、浜と一体となった系統組織の絆があったからだと思います。

北海道の水産資源は、大きな可能性を秘めています。自然環境の変化を受けやすい産業であるからこそ、系統組織としての役割はますます大きくなると思います。

将来にわたり魅力ある北海道漁業であることを祈念し、退任にあたっての御挨拶とさせていただきます。

シークワードクイズ 7月のテーマ「雨の名前」

チ	ダ	ウ	ユ	ツ	ハ	ン
ヤ	ン	リ	ウ	ヒ	リ	ウ
キ	マ	メ	イ	イ	メ	キ
サ	ア	シ	バ	シ	ン	セ
メ	ツ	オ	グ	メ	リ	ウ
ウ	サ	レ	ツ	レ	ン	ユ
ウ	ウ	ヨ	シ	ユ	イ	ギ

どれにも使用しなかった文字を
うまく並べてください。

解答 となります。

くわしい応募方法は、17ページをご覧ください。
抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。

オ	オ	マ	シ	コ	イ	イ
ト	コ	メ	ス	ビ	レ	ウ
ノ	バ	ズ	リ	キ	キ	ミ
ツ	ガ	ス	セ	ド	セ	ネ
モ	ノ	キ	ラ	マ	ク	コ
ズ	ガ	ヤ	カ	ハ	ム	
バ	ヒ	マ	コ	マ	シ	リ

6月号の解答と当選者 ヒバリ

(福島町)新山 董さん
(北斗市)栗田 人見さん
(釧路町)竹田美知子さん
(初山別村)細野 京子さん
(札幌市)田中 富子さん

そろそろシークワードにも慣れてきたころでしょうか?7月は雨の名前がテーマです。

図の中で、たて、よこ、ななめの一直線に下のリストのキーワードが読める様になっています。

どこにあてはまるか探してください。すべて探し終わったら、どれにも使用しなかった文字をうまく並べかえてください。

リスト

- | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|
| ☐ アオツユ(青梅雨) | ☐ シツウ(疾雨) |
| ☐ インウ(陰雨) | ☐ ショウウ(少雨) |
| ☐ インリン(陰霖) | ☐ バイウ(梅雨) |
| ☐ ウメシグレ(梅時雨) | ☐ バイリン(梅霖) |
| ☐ オシメリ(お湿り) | ☐ ハツユウダチ(初タ立) |
| ☐ ギユウセキウ(牛脊雨) | ☐ ヤマシグレ(山時雨) |
| ☐ キンウ(錦雨) | ☐ ヨサメ(夜雨) |

〈ヒント〉♪～飲ませてください もう少し～♪
(歌謡曲のタイトルにもあります。)

解き方

リストの言葉をマス目の中からタテ、ヨコ、ナナメの一直線に探していきます。文字は逆方向から読んでも、他の言葉と重複して読んでもOK。すべて見つけた後、使われなかった文字をうまく並べかえたと答え(魚の名前)になります。

例題

ア	コ	ン	ブ
キ	ア	サ	リ
ア	バ	ン	サ
ジ	コ	マ	イ

リスト

- ☐ アキアジ
- ☐ コマイ
- ☐ プリ
- ☐ サンマ
- ☐ コンプ
- ☐ アサリ

➡

ア	コ	ン	ブ
キ	ア	サ	リ
ア	バ	ン	サ
ジ	コ	マ	イ

〈解答〉サバ

表紙に登場いただいたご家族を紹介いたします。

今月の 浜の家族物語



しょうばやし たいき かおり いっぽ
【庄林さんご一家】 庄林 大騎さん(36歳)、馨さん(39歳)、一歩くん(5歳)

※写真は太騎さんの母 好子さんと共に

「浜の家族物語」では、「なみまるくん」の表紙に登場いただいたご家族を紹介します。今回は、落石漁協の庄林さんご一家です。

青年部員を増やすために

初夏から春まで行われるたこ籠漁を中心に、昆布漁や刺し網漁、いか釣り漁などを営む大騎さん。子どもの頃から陸仕事を手伝いつつ、高校卒業後に漁師になって18年。3年ほど前から舵持ちとして、父満さんとともに2人で船に乗っています。

落石でも「昔ほど獲れなくなった」というたこ。漁獲サイズ規制や漁礁づくり、産卵期である夏の自主休漁など、資源保護に取り組んでいます。大騎さんは「今年もたこ漁が始まるけど、たくさん獲れるといいな」と期待を話してくれました。

落石漁協青年部長を務めて2期目となる大騎さん。青年部員が減少する中で「部員であるメリットになれば」と、青年部独自にかきの養殖にも取り組んで

います。「まだまだ2年目だから。もう少し頑張らないとね」と意気込みます。

船の新造を目指して

馨さんは、根室市内の出身。「父は定置網の漁師でしたが、『昆布漁師とは結婚するな』と言っていましたね。実際に会ってもらったら、『彼なら大丈夫だ』と言ってくれましたけど」と笑います。

一歩くんは馨さんのたらフライが好きな5歳児。大きくなったら、動画共有サイトYouTubeで動画配信者になるか、消防士になるか悩んでいるようですが、最近は漁船にも興味が出てきたそう。

秋には第二子の誕生も予定している庄林家。大騎さんは「これからは、船の新造が目標だね」と教えてくれました。



間違いさがし

間違いは5つです。

※右と左の絵には、5か所の異なる点があります。
さあ、見つけてください。
(印刷のズレや汚れは関係ありません。)



※答えは17ページにあります。

ぎょれん×北海道コンサドーレ札幌 食育&サッカー教室が開催 函館の親子がサッカーの技術と食の大切さについて学びました

03

6月8日(土)、函館フットボールパークにて、通算25回目、今年1回目となる「ぎょれん×北海道コンサドーレ札幌 食育&サッカー教室」が開催され、函館地区4つのサッカーチームの小学生とその保護者123名が食育教室に参加しました。

食育教室では、北海道コンサドーレ札幌管理栄養士の小松信隆さんが、試合に生かせる栄養学を伝授。栄養についてのクイズを交えながら、道産水産物の栄養やレシピを紹介しました。続いて、ぎょれんの食育DVDを使い、北海道の海で育つ水産物の紹介とそのすぐれた栄養について伝えました。

サッカー教室では、北海道コンサドーレ札幌ジュニアスクールコーチ2名の工夫を凝らした指導のもと、子どもたちは約2時間にわたり体を動かしました。



子ども達は天然芝のグラウンドで元気に指導を受けました



食育教室には60名以上の保護者が参加。日頃から活用できる道産水産物のレシピが伝授されました

道産水産物を使ったおいしい料理を召し上がれ ほたてチラシができました

04

夏の需要期に向け、今年もほたてのチラシができました。今年は「北海道ほたてからの挑戦状」と題し、ほたてのおいしさを生かしたメニューを提案しています。裏面ではパーティーに便利な手巻き寿司や夏らしい冷製パスタなどのレシピの他、キューピーとのタイアップレシピも掲載。実施中のSNSを活用したフォトコンテストや、アプリを活用したキャンペーンについてもご紹介しています。

6月より全国の量販店周辺エリアに約260万部を配布し、ほたての需要喚起を図っていきます。



暑い季節にもおいしく食べられるレシピが掲載されたチラシは本誌に折り込んであります
ぜひご覧ください!

「道ぎょれん会 お取引先懇談会」が開催 道内外からのお客様と懇親を深めました

01

5月30日(木)札幌市で、ぎょれんが主催する「道ぎょれん会 お取引先懇談会」が開催され、全国から200社、295名のお客様が参加し、来賓を代表して鈴木直道北海道知事より挨拶がありました。

主催者を代表して川崎会長は、「北海道の漁業は様々な努力を重ねながら今の状況を作ってきたが、自然環境は想像を超える変化をしている。そんな中でも我々は自然と向き合い、消費者や加工・流通業者の皆様に水産物をお届けしていくために努力していきます」と述べました。

続いて菊池常務が「北海道ぎょれん平成31年度事業方針」と題し、ぎょれんの漁政事業、販売事業、購買事業、宣伝・食育・広報事業等について説明しました。

また、特別講演ではアメリカ・カリフォルニア州弁護士でタレントのケント・ギルバート氏による「だから日本は素晴らしい 世界が憧れるこの国に暮らして」と題した講演が行われました。

懇親会では道産魚介類やぎょれんブランドの商品がふるまわれ、その美味しさに舌鼓を打つとともに、和やかな雰囲気の中で懇親を深めました。



これからの北海道漁業について力強く語る川崎会長



たくさんのお客様にご参加いただきました

今年も「ウーマンエキスポ」に出展 昆布の魅力や健康効果をPRしました

02

5月18日(土)、19日(日)、東京ミッドタウンで、「WOMAN EXPO TOKYO 2019」が開催されました。このイベントは、働く女性の公私の充実を応援するイベントで、2日間で1万1千人以上が来場しています。

北海道こんぶ消費拡大協議会では、5年連続でブース出展を行い昆布の魅力と健康効果をPRしたほか、「海の恵みが健康を守る! ~元気に効くお弁当セミナー」と題し、お弁当つきのセミナーを開催しました。セミナーには約150名が参加し、昆布など道産素材を使用したお弁当に舌鼓を打ちながら、昆布の種類や効能、おいしい使い方などについて学びました。

ウーマンエキスポは、11月にも東京での開催が予定されており、北海道こんぶ消費拡大協議会では、このイベントでの更なるPRを行っていきます。



昆布の機能を紹介したブースでは、海藻昆布の展示が好評でした



昆布に秋鮭、ほたてと道産水産物をたっぷり使ったお弁当は、味の良さはもちろん、簡単でオシャレ

本場に負けないおいしさ

たこ焼き風かき揚げ

浜のおかあさん

レシピ



今回は「たこ焼き風かき揚げ」をご紹介します。
天つゆや塩はもちろん、ソースで食べてもおいしい
です。たこの旨みときゃべつの甘みに、紅しょうが
がアクセントになるたこ焼き風です。

材料(4人分)

ゆでたこ足…120g	天ぷら粉…1カップ
たまねぎ…1/4個	水…100cc
きゃべつ…1枚	サラダ油…適量
紅しょうが…10g	

作り方

- ① すべての材料をみじん切りにする。
- ② 天ぷら粉を水で溶き、①を入れて混ぜる。
- ③ ②をスプーンですくい、熱した油で揚げる。
カラッと揚げたら油を切って、皿に盛って出来上
がり。



石狩湾漁協

中井 寿美子さん